一般質問　金澤大輔議員（鹿真会・公明）

問 市長が市民からの公開質問状に対応しなかったのは、どのような考えによるものか。

答 昨年の12月議会でも答弁してきた内容であることや、調査委員会の設置が見込まれていたことを踏まえ、質問状への回答は控えた。

公社問題について

問 道の駅の指定管理については、これまで鹿角市のスタンスとして、基本的に事業者の創意工夫で収益を上げてもらうことを目指し、指定管理料なしとしてきたと理解している。

しかし、令和6年度予算を見ると、道の駅かづのに関しては指定管理料が計上されていないのに対し、道の駅おおゆには1635万円が計上されている。

同じ道の駅でも、一方には指定管理料を新たに計上し、一方には計上しない。これは公社に対する意趣返しではないか。

この相違はどういった理由によるものか。

答 道の駅の指定管理料については、令和6年度予算編成における検討の中で、道の駅としての基本的な機能を維持するために必要な経費について積算しており、道の駅おおゆについては、施設の管理運営に必要な経費について、令和6年度からは指定管理料として予算計上しているが、道の駅かづのについては、今後の経営状況なども見極めながら、指定管理料の必要性について総合的に検討していく。

金澤　大輔 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

質問した項目

- ライザップとの連携協定について
- 鹿角高校寮費支援について
- 公社問題について
- 人口減少について
- 本市における主権者教育について
- 若者の意見をどう捉えるか
- 行政の役割について

録画配信はこちらから

一般質問　成田哲男議員（誠心会）

問 物流の手段として、平時や災害時におけるドローンの活用を検討しているか。

答 物流の実用化については、実証実験の状況を注視していく。災害時は消防本部のほか、企業2社と支援に関する協定を締結している。

成田　哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分

質問した項目

- 2030年カーボンニュートラル達成について
- 建設業の働き方改革について
- 鹿角高校について
- ドローンの活用について
- 大湯環状列石の保存活用計画について

建設業の働き方改革について

問 令和6年度から公共工事が週休2日制になることについて、市発注工事への今後の影響は。

答 工事期間の長期化やリース機械等の経費の増加、技術者や資格者の人員の確保など影響は大きい。

本市の工事発注においては、最新の単価を用いた設計、週休2日に対応した工事価格や、十分な工事期間を設定し、工事の品質の確保に努めていく。

大湯環状列石の保存活用計画について

問 県道移設ルート案が提示され、2027年度から工事着手の予定だが、移設後の整備事業の概略は示されているものか。

答 史跡内を縦断する道路がなくなることで、ガイダンス施設から徒歩で見学することになるため、新たな見学動線や休憩スペース等の利便施設を設置し、老朽化した復元物の新たな整備の実施の検討を予定している。

また、大湯ストーンサークル館については、展示ホールの更新、出土遺物の重要文化財指定に向けた保存施設の設置等を進めていく。

録画配信はこちらから